

# 道徳科学習指導案

令和3年10月 第5学年 指導者 赤澤 和哉

1 主題名 互いに高め合いながら 内容項目B-(10)友情、信頼

2 教材名 「ドッジボール対決」 (出典:「きみがいちばんひかるとき」光村図書)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

ねらいとする道徳的価値は、友達との関わりの中で、相手に共感したり相手を信頼したりしながら、互いに高め合おうとする心情を育てることである。友達は、学校生活において深く関わる存在であり、互いに影響し合いながら成長するためにとても大切な存在でもある。一方で、人間には、本当はよくないと思っけていても、友達の考えに同調してしまい、自分の考えを伝えずにやり過ごしてしまう弱さもある。そこで、友達とよりよい関係を築くために、よくないと感じる考えに対して、自分の考えを素直に伝えたり、互いの考えをよく聞き、尊重し合いながら、よりよくなるよう協力したりすることが大切であることに気付かせたい。

### (2) 児童の実態について

本学年の児童は、仲のよい友達と互いに共感したり信頼したりして友情を深めていこうとする姿が多く見られる。一方で、狭い範囲でのグループを作って、時に他のグループと対立することもある。相手の立場に立って考えたり行動したりすることが不足している場面も少なくない。そこで、学校生活が更に楽しく心の充実が図れるよう、互いのよさを認め、学び合い、支え合いながらよりよい友達関係を築くことの大切さに気付かせたい。

### (3) 教材について

主人公の「ぼく」は、とても仲がよい5年2組の一員である。ある日、去年まで同じクラスで今でも仲のよい1組の「都」と下校で一緒になった。「都」は2組の団結力がうらやましいと言う。そこで、「ぼく」は互いのクラスの団結力を高めるために、クラス対抗のドッジボール対決をしようと提案した。対決が決まった後、2組の作戦会議で、「対決の日まで1組の人とは話さない」ことが決まった。「ぼく」はこの決定に疑問を抱きつつ、「都」にそのことを伝える、という話である。「ぼく」が自分の組の友達も「都」や1組の友達とも高め合うためには、どうすればよいかを問い、友達同士が互いに信頼して関わるとはどのようなことかを考えさせたい。

## 4 指導方針

### ○本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつために

- ・資料の内容が自分事として考えられるよう、友達と意見が合わなくて困ったことがあるかを問い、全体で共有する。

### ○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

- ・仲のよい友達やクラスの友達との関わりを深く考えられるよう、互いに高め合うことのできる友情とはどういうものかを問う。
- ・多様な考えに触れられるよう、ICT端末で送信された全員の考えを映しグルーピングする。
- ・多様な考えに気付いたり少数派の考えに目を向けたりできるよう、自分とは異なるグループの考えを中心に、質問したり、詳しく説明したりする時間を設ける。
- ・自他の考えを比較・関連付けるよう、ノートに矢印等を書くよう指示する。
- ・考えを深め、変容に気付くよう、全体での共有後に再度自分の考えをノートに書くよう促す。

### ○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・自分のこれまでの生活を振り返り、よりよい生き方への思いや願いを深められるよう、「学習した

ことは「今まで」「これから」の書き出しに沿って記述するように促す。

## 5 本時の展開

### (1) ねらい

互いに高め合える友情について考え、友達同士で信頼し学び合おうとする態度を育てる。

### (2) 準備

教師：教科書 場面絵 プロジェクター ICT 端末

児童：教科書 ノート ノートの書き方の図 ICT 端末

### (3) 展開 (○発問 ◎中心発問 ◇補助発問)

学習活動と発問	時間	予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 ☆研究上の手立て
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。</p> <p>○友達と意見が合わなくて困ったことはありますか。また、どのようなことで困ったのですか。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全員でレクを考えたとき、男女で意見が食い違ってしまい困った。</li> <li>【問題意識】友達でも、意見が合わず困ったことがあったな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに高め合うような場面で意見を合わせることが難しい場合があることに気付けるよう、友達との関わりを振り返る。</li> <li>・団結とは、力を合わせて結び付くことという意味を押さえる。</li> </ul>
めあて：お互いに高め合う友情とはどういうものか考えよう。			
<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。</p> <p>○ドッジボール対決が決まり「都」が「わたしたち、負けないよ」とうれしそうに笑ったとき「ぼく」はどのようなことを考えていましたか。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都」のためになった。</li> <li>・友達の「都」に喜んでもらえてよかった。</li> <li>・1組も団結して友情が深まるといいな。</li> <li>・2組も更に友情が深まるといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後の「ぼく」の葛藤に気付けるよう、1組の「都」と仲がよいことを押さえる。</li> <li>・「ぼく」が「都」のために考えた提案であることに気付けるよう、「都」がうれしそうに笑ったときの「ぼく」の気持ちを問う。</li> </ul>
<p>3 教材を通して、道徳的価値について考えをもち、交流する。</p> <p>○「正志」の勢いに負けて「わ、分かったよ」と返事をしたとき、「ぼく」はどのようなことを考えたでしょう。</p> <p>◎「都」やそれぞれの組の友達とも高め合うためには、どうすればよ</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「正志」の考えに反対すればよかった。</li> <li>・「都」に何て伝えたらよいのだろう。</li> <li>・1組と話さないことが正しいと思えない。</li> <li>・友達の「都」について、2組に話す。</li> <li>・ドッジボール対決は、1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼく」の気持ちの揺れが分かるよう、児童の発言を板書にまとめる。</li> <li>☆自分の考えをノートに書き、ICT端末で撮影して送信するよう指示する。</li> </ul>

<p>いでしょうか。</p> <p>◇みんなが前向きな気持ちになるためには、どうすればよいですか。</p> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについても一度考える。</p> <p>○お互いに高め合う友情とはどういうものですか。</p>	<p>5分</p>	<p>組の友達を励ますために考え出したことを2組に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話さないのではなく、よりよい作戦を考える。</li> <li>・相手の立場になって考え直す。</li> <li>・お互い頑張ろうと励まし合う。</li> <li>・お互いによかった練習方法を一つ伝えてみる。</li> <li>・勝負にこだわらず楽しむようにする。</li> </ul> <p>・納得し、支え合うこと。</p> <p>・自分やみんなのためになるよう行動すること。</p>	<p>☆全体に共有できるよう、撮影したものを全員分画面に映し、次の視点でグルーピングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対決の意図を伝える考え (赤)</li> <li>・相手を大切にする考え (青)</li> <li>・その他 (方法等) (黄)</li> </ul> <p>☆他のグループの気になる考えをノートに書いた後、比較・関連付ける矢印等を書くよう指示する。</p> <p>☆多様な考えに気付けるよう、自分とは異なるグループの考えを中心に、質問したり、詳しく説明したりする時間を設ける。</p> <p>☆変容に気付けるよう、改めて自分の考えをノートに書くよう促す。</p> <p>・本時の気付きを共有するよう、児童の発言を板書にまとめる。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○今日学んだことを基にし、自分の生活に生かせることを考えましょう。</p>	<p>5分</p>	<p>・学習したことは互いに納得して行動することが大事だと思った。今まで自分を優先していたけれどこれからは相手のことも考え行動していきたい。</p>	<p>☆学習に対する今までの自分と、これからの自分について考えられるよう、「学習したことは」「今まで」「これから」という書き出しでノートにまとめるよう指示する。</p>

(4) 評価の視点

- 中心発問で、「都」やそれぞれの組の友達とも高め合う考えを多面的・多角的に捉えている。
- 本時の振り返りでは、学習したことを基にこれからの生活へ生かそうとしている。

(5) 板書計画

10月 第20回 15 ドッジボール対決 (め) お互いに高め合う友情とはどういうものか考えよう。

<友達と意見が合わず困ったこと>

- ・クラス全員でレクを考えたとき、男女で意見が食い違った。

ドッジボール対決

「負けないよ」

- ・「都」のためになった。
- ・喜んでもらえてよかった。
- ・1組も団結して友情が深まるといいな。

1組とは話さない

団結：力を合わせて結び付くこと

「わ、分かったよ」と返事したばく。

- ・「正志」の考えに反対すればよかった。
- ・「都」に何て伝えたらよいのだろう。
- ・1組と話さないことが正しいと思えない。

◎「都」やそれぞれの組の友達とも高め合うためには、どうすればよいでしょう。

- ・友達の「都」について2組に話す。 → 納得すること。
- ・お互い頑張ろうと励まし合う。 → 自分やみんなのために行動。

「ふりかえり」

学習したことは…  
今まで…  
これから…